

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年10月17日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200349		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム れんぎょう	ユニット名	西館
所在地	〒319-0206 茨城県笠間市安居3144-521		
自己評価作成日	平成28年5月25日	評価結果 市町村受理日	平成28年10月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0873200349-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0873200349-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年7月22日	評価機関 決 済 日	平成28年10月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎月の行事や散歩など 外気浴をしながらのレクリエーションを行い 季節感を感じる事が出来  
笑顔のある生活が出来る様に努めています

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人の社訓「全ての人々に心のこもった医療・福祉を」を実践し、事業所理念「笑顔のある生活」を尊重しつつ利用者が安心・安全に生活できるように支援している事業所である。  
管理者の指導のもと、職員は常に利用者の尊厳を大切にし、家族の一員のような気持ちで利用者が穏やかな生活が送れるよう支援している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を何時も見えるところに掲示する事で共有して実践につなげられるように努めています	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を代表者や管理者、職員で作成し、事務室や玄関、各ユニットに掲示して共有し、実践に努めている。 管理者と職員は理念の中の「笑顔のある生活」を特に大切にし、利用者が時折り見せる笑顔を目標に生活を支援している。 職員に対しての理念の意識付けや理念に基づいた介護支援についての指導は、管理者の判断で随時行なわれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時のときなどに挨拶を交わしています	近隣住民の代表が運営推進会議に出席している。 利用者と職員で事業所周辺を散歩する際には、近隣住民と挨拶を交わし会話を楽しんだり、野菜や花のお裾分けを頂くなど、日常的に交流している。 納涼祭や敬老会、創立記念祭を開催する時に、カラオケや腹話術、日本舞踊などのボランティアを受け入れ、利用者が特別なひと時を楽しく過ごせるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方の理解は進んでいると思います		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の報告をする事で意見を頂いたりしてサービスの質の向上につながる様に努めています	運営推進会議は市職員や民生委員、地域住民、代表者、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。 事業所からは行事や利用者の状況、事業所の取り組み、外部評価結果を報告するほか、感染症対策など季節の話題を議題に上げて、情報交換をしたり、災害時の断水などに備えて水の確保の提案があり、近隣住民の協力を得て井戸のある場所を調べ、記録に残した。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から市役所に出向く事や推進会議の場で意見を伺うことで協力関係が築けるよう努めています	市担当者が毎回運営推進会議に出席しているほか、管理者は電話だけでなく、要介護更新申請や生活保護受給者の書類の申請、若年性認知症の利用者の受け入れに必要な手続きについてなど、直接市窓口に出向いて相談をしたり、情報交換をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての理解はしています。また身体拘束の無い介護が出来る様に努めています	管理者は日頃から職員に対して身体拘束をしない介護について注意喚起を促すとともに、職員は介護における身体拘束の定義など、疑問がある時には管理者や他の職員と話し合い、一人ひとりが意識付けをしながら身体拘束をしないケアの実践に努めている。 身体拘束排除に関するマニュアルは作成しているが、定期的に職員の研修を行うまでには至っていない。 やむを得ず身体拘束を行う場合に備え、同意書や経過観察記録等の書類を整備している。	身体拘束排除に関するマニュアルなどをもとに、定期的に内部研修を行い、身体拘束とその弊害を正しく理解した上で、身体拘束をしないケアに努めることを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が無い様にケア困難な事例については随時ミーティングを行っています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はありませんが必要に応じて対応しています 制度を利用している人は居ます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明を行い理解を得たうえで利用を開始していただいています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族の来所時に状況をお伝えしながらご家族の意見や要望を聞くようにしています	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記して、契約時に家族等に説明するとともに、苦情相談受付窓口を掲示して、家族等が意見や苦情を言える機関を周知している。 利用者からは日々の会話の中から、家族等からは電話や面会時などに意見や要望を聴くよう努めている。 「他の利用者の声が気になる」と苦情があり、利用者と職員で話し合っって時間や場所を変更する対策を取った。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の要望等は随時管理者と話し合い本部との定例会議の場で意見を言える機会があります	朝の申し送りの時間など、日頃から話し易い雰囲気づくりを心がけ、職員からの意見や要望を聞くようにしている。 職員同士の相性などを考慮して勤務シフトを組み、働き易い環境を作る工夫をしたり、勤務時間やシフトを変更して外部研修への参加を促すなどしている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員同士の相性や勤務日数・家庭環境に配慮があります		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修はありませんが研修の参加呼びかけはあります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との交流はあまりありませんが定例会議の場で情報の交換がありサービスの質の向上が出来る様に努めています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時に十分な聞き取りをおこない不安の無い生活が送れるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今困っている事や不安に思う事を良く聞き良い関係が作れるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今困っている事や要望を良く聞きホームで出来る事出来ない事を話しあった上で対応しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は共に行うことで一緒に生活するという気持ちで接し良い関係が出来る様に努めています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	買い物や外出などを家族にお願いしたり困っている事を話し合う事や電話等で連絡をしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望があれば電話や手紙などの支援をしています	入居時の聴き取りによるフェイスシートや利用者との日々の会話などから、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するよう努めている。 利用者の友人や親戚が来訪した際には、お茶などを出して寛いで過ごせるような雰囲気づくりをしているほか、要望があれば家族等や知人と一緒に選挙の投票や食事などの目的で外出できるよう支援し、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブル事が無い様に配慮しながらお互いが支えあう事が出来る様に支援しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了は死亡退去が多いため継続での支援はありません		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	今までの生活歴や習慣を良く聞き本人の意向の把握に努めています 困難な方は表情や仕草から推測しています	管理者と職員は、利用者との日常の関わりの中から一人ひとりの思いや希望の把握に努め、利用者から聴いた情報は個人ケース記録に記載して職員間で共有している。 意思の表出が困難な利用者には、家族等の来訪時に話を聴いたり、表情や仕草から思いや意向の把握に努め、管理者と職員で相談しながら、利用者本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時に十分な聞き取りをおこなう事で把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申しおくりや日々の暮らしの中から把握するように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の思いや家族の思いを念頭に置き担当者と話し合い作成するようにしています	介護計画は利用者や家族等の意向を取り入れるとともに、看護師や管理者、職員で話し合い、計画作成担当者が作成して家族等の面会時に周知しているほか、面会に来られない家族等には郵送して同意を得ている。 モニタリングと短期目標は3ヶ月毎、長期目標は6ヶ月毎に設定し、基本的に2年毎に見直しをして家族等に確認を得ている。 利用者の心身の状態等に変化が生じた場合は、随時モニタリングを行い、見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録や申しおくり・生活の中での気づきを話し合うようにしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時に家族と相談しながら対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの依頼などで楽しみのある生活が送れるように努めています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談して決めています 母体が病院ですが他病院受診の希望は家族の協力で受診 受診時は血圧の記録や日常の様子などをお伝えする援助をしています	契約時に利用者や家族等に、希望するかかりつけ医への受診が可能な事を説明している。 かかりつけ医への受診は、家族等が付き添うことを基本とし、職員は利用者の最近の様子を記したメモを渡してスムーズな診察ができるよう支援している。 月1回の協力医療機関の医師による訪問診療や、2週間に1回の訪問歯科診療のほか、隔週1回職員が付き添って外来受診の支援をし、受診結果は家族等に電話で報告するとともに、申し送りノートに記載して職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	随時に看護師や病院と連絡を取りながら利用者の体調管理に努めています		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリー等により情報を交換しています	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りはしていませんが家族の希望があり医療処置等がなければなるべくホームで過ごす事が出来る様に支援しています	「重度化した場合における対応に係る指針」を作成し、入居時に家族等に説明して書面にて同意を得ている。 事業所は重度化や看取りの段階にあっても、医療行為を必要としない場合は、利用者や家族等の要望があればできる限り事業所で過ごせるよう支援している。 体力や栄養状態、食欲など身体状況が低下した利用者については、家族等や医師、看護師、職員で話し合いの機会を作り、医療機関を紹介するなど、家族等の要望にそった支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習は受けています	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行い夜間想定や隣接する施設との協力体制が取れる様に努めています	夜間想定を含む避難訓練を年2回実施するとともに、実施記録を作成して訓練で明らかになった課題を記載し、次回の訓練に活かしている。 災害に備えて米や水、食料品、懐中電灯、おむつ類、毛布、ストーブ、ロウソクなどを備蓄しているが、一覧表に記載して管理するまでには至っていない。	品名や数量、賞味期限などを記載した一覧表を作成して備蓄品を管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各個人に応じた言葉使いをしています 排泄誘導の時にも本人だけに伝わるような声掛けを心がけています	職員は利用者の尊厳やプライバシーを大切に、常に利用者の羞恥心や自尊心に配慮したケアに取り組んでいる。 家族等には契約書にある守秘義務の条項とは別に、個人情報に関する同意書を作成し、説明をして同意を得ている。 同意書の内容についてはその都度精査し、改善点があれば修正している。 個人情報に関する書類は、事務室の鍵のかかる書棚に保管し、情報の漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各個人の力量に応じて自己決定が出来る様に支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自身のペースで過ごす事が出来るような支援になる様に心がけています 日々笑顔があるように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自身で何を着るか選んでいただいてお洒落が出来る様に支援しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の力量に応じて刻む事や盛り付けに配慮して職員も一緒に食卓を囲む事で食事が楽しめるようにしています 利用者が出来る範囲において下膳やテーブル拭きをしていただいております	献立は利用者の嗜好を把握し、苦手な食材の場合には代替え食を用意して同一法人の管理栄養士が作成し、食材も法人に取りに行っているほか、利用者の嚥下能力に合わせて、きざみ食やとろみ食などを提供している。 雛祭りや誕生会などには行事食を提供しているほか、自家菜園で収穫したトマトなどを食材に取り入れて、季節感のある食事ができるよう支援している。 利用者はできる範囲で野菜の皮むきやテーブル拭きなどの役割を担っており、職員は見守りや食事介助をしながら、楽しく和やかな雰囲気です事を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量を記録して水分も十分摂取出来る様に支援しています 体重も視野に入れて健康管理をしています		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを本人の出来る力に応じて介助しています		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間オムツ使用の方は居ますが定時排泄誘導や訴え時のトイレ誘導でトイレでの排泄が出来る様に支援しています	職員は排泄チェック表や介護日誌を活用し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の仕草や表情の変化から察知してさりげなく声かけ誘導し、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分の摂取と運動を勧めて便秘の無い様に支援しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっていますが 各個人が楽しんでゆっくり入浴出来る様に努めています 季節に応じてゆず湯や菖蒲湯などをおこなっています	3ユニットがそれぞれ週2回の入浴日を設定しており、事業所全体では週6日入浴ができるような体制になっている。 利用者の状態に合わせて見守りや介助を行い、一人ずつゆっくりと入浴ができるよう支援している。 柚子湯や菖蒲湯などを利用して、季節を感じながら入浴を楽しんでもらえるよう工夫をしている。 入浴を拒む利用者には強要はせず、職員や時間帯を変えたり、清拭や足浴などで対応するよう工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間良く入眠出来る様に日中は活動的に過ごす事が出来る様に支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用等は職員が共有して誤薬をする事が無い様に注意し体調に応じては医師に服薬相談をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事で役割りが持てる様に支援しています 季節ごとの行事やカラオケを楽しんでいます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な外出は散歩となっておりますが外来受診時などにドライブを楽しむ事もあります（花見の季節や紅葉に時期） 本人の希望があれば家族に依頼する事もあります	利用者の体調や状況などに合わせて、事業所近辺の散歩や近くのコンビニエンスストアへの買い物を支援している。 年間行事計画を立てて、家族等の協力も得ながら車いすの利用者も一緒に外出している。 利用者や家族等の要望を聴いて、外食を楽しむよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理している人も居ますがほとんどの方は所持していません	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話で電話をかける人が居ます出来ない方には電話をかけて自身で話をさせていただいています	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごす事が出来る様にテレビの音や話し声・室温や陽射しの明るさや強さに配慮しています 季節感を感じる事が出来る様に庭の花や散歩時に摘んだ花を飾り行事等の飾り物をしています	玄関の周りにプランターや鉢植えが置いてあり、季節の花々を楽しむことができるほか、欄間と引き戸がガラスになっているので、明るい空間となっている。 上り口から廊下は車いすでも十分な広さがあり、バリアフリーとなっているので、移動がし易い造りとなっている。 廊下の壁面には近隣の小学生からの手紙や、利用者が楽しむ行事の写真を掲示しているほか、金魚や亀のいる水槽があり、利用者が餌やりをしたり、眺めるなど寛げる空間となっている。 居間兼食堂の一角には、小上がりの畳スペースがあり、利用者が談笑したり、足をのぼせる場所となっている。 浴槽は家庭的な個人浴槽になっており、手摺を設置して安全な入浴ができるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各個人好きなどころに過ごしています 利用者同士の関係に配慮して トラブル事がない様に位置関係に配慮しています	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室は各個人が自由に使用しています 使い慣れたものの持込写真や作品の展示自身で使いやすい様な家具等の配置が出来る様に支援しています	居室にはエアコンやベッド、寝具、洗面台、カーテン、整理筆筒が備え付けられているほか、天井には洋花をモチーフにした飾り板がはめ込んである。 管理者は使い慣れた物品を持参して貰えるよう説明しており、利用者は衣装ケース、テレビ、筆筒、目覚まし時計、家族の写真、手作り作品、ラジオ、テーブル、椅子などを持ち込んで、居心地よく暮らせるよう工夫している。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーに成っていて手すりの設置があり事で自立して生活出来る様に支援しています 場所がわかるように目印も必要に応じて設置しています	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが ○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームれんぎょう

作成日 平成28年10月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束排除に関して定期的な研修が行えていない。	定期的な研修が行え、拘束の弊害を理解できる。	対応困難な事例や担当者会議の場を内部研修とし、外部研修に参加してゆく。	3ヶ月
2		災害時に対する備蓄の一覧表が出来ていない。	備蓄の一覧表の作成をし、管理出来る。	備蓄の管理のために、防火管理者の下に一覧表を作成する。	3ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。